

處報 NASUKARASUYAMA

那須烏山

— No.74 —

2011 November 11
Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

震災ボランティア	2
市民アンケート結果	4
市政情報	6
まちの話題	16
インフォメーション	18



大きいのとれたよ!(10月13日、すくすく保育園イモ堀り)



RYU-仁- 災害ボランティア「チーム龍JIN」

多くの市民が被災地支援

市内の水害でも片付け支援

3月11日の東日本大震災では、2人が死亡し、2800件を超える住宅が損壊するなど、大きな被害が発生した本市において、市民有志による東北被災地の支援活動が行われています。

震災発生当初は、市内において社会福祉協議会が中心となり、高齢者宅片付け、避難所での炊き出しなどのボランティアが行われました。その後、市と社会福祉協議会による「市災害ボランティアバス」が東北の被災地へ派遣され、それ以外にも多くの市民ボランティアが、そばや食事の炊き出し、散髪車や物資の提供などにより、被災地を支えてきました。

これらの活動を通して、長期に渡る被災地支援の必要性を痛感した有志が支援組織を立ち上げ、現在も活動を継続しています。



住民主体の支援活動

被災地では
まだまだ皆さん
の力を必要とし
ています

チーム龍JIN
キャプテン

小堀道和さん
(小河原)



まだまだ復旧が進んでいない被災地もありますので、今後は「心のがれき取り」を合言葉に支援を継続していきます。ぜひ、皆さんにも被災者との心の交流を味わってほしいです。現地に行けない人も、募金へのご協力をお願いします。

5回にわたる市災害ボランティアバス派遣の終了後も、東北被災地支援を続けていこうと、チーム龍JINの前身にある「東日本大震災災害ボランティア応援団」が5月31日に発足し、バス派遣の経費など、支援に必要な資金を募る活動を開始しました。6月25日には、同応援団が緊急活動報告会・交流会を開催し、参加者らにより、支援活動と活動のための応援金の募金活動を行なうと、被災者の自立を手伝う活動が中心となっています。

アチーム龍JIN(RYU-仁-)(小堀道和代表)が、住民主体で結成されました。

7月31日には、同チーム初のボランティアバスを宮城県七ヶ浜町に派遣しました。東北の被災地も一部では復旧

が進んできましたが、道路事情の悪い地域などではあまり進んでいないのが現状です。今後は、がれきなどの片付け作業と併せ、触れ合いを通じた心のケアなど、被災者の自立を手伝う活動が中心となってきます。

また、チーム龍JINでは、本市も被災地であることから、市内仮設住宅での夏祭り開催や、9月の台風15号によ

る水害での片付け作業などにも取り組んでいます。

これまで、チーム龍JINには賛同者から60万円を超える募金が寄せられました。今後も継続的な支援を行なうため、募金(1口1千円程度)の協力(「龍JINシール」をプレゼント)を呼びかけています。詳しくは、チーム龍JIN(社会福祉協議会鳥山支所 0287-141294)までお問い合わせください。



①緊急報告会・交流会で被災地支援を合意②龍JINボランティアバス第1便での活動③被災地に全国から集まるボランティア④チーム龍JIN以外にも多くの市民が多様な支援⑤市内でも仮設住宅の夏祭りを開催。



皆さんの思いを被災地に

チーム龍JINでは、支援活動をするボランティアの交流機会をつくることも目的としています。これまでの活動でオリオリゴスペルクワイヤー、ガールスカウト、じちぎコープ、那須南農業協同組合、野うさぎくらぶ、ムラおこし応援団、リーダースクラブ、HELP JAPAN BE、生きがいの郷からすやま、帰農志塾(株)アヤラ産業、SOCO D JAPAN、その他多くの皆さんが結びつき、その思いを被災者の方々に伝えてきました。

10・1	9・27	9・24
ボランティアバス(第3便)(石巻市)	市内水害片付けボランティア(6件)	ボランティア交流会(63人)
22人	6件(延べ10人)	邸家(高生)かやぶき古民大木

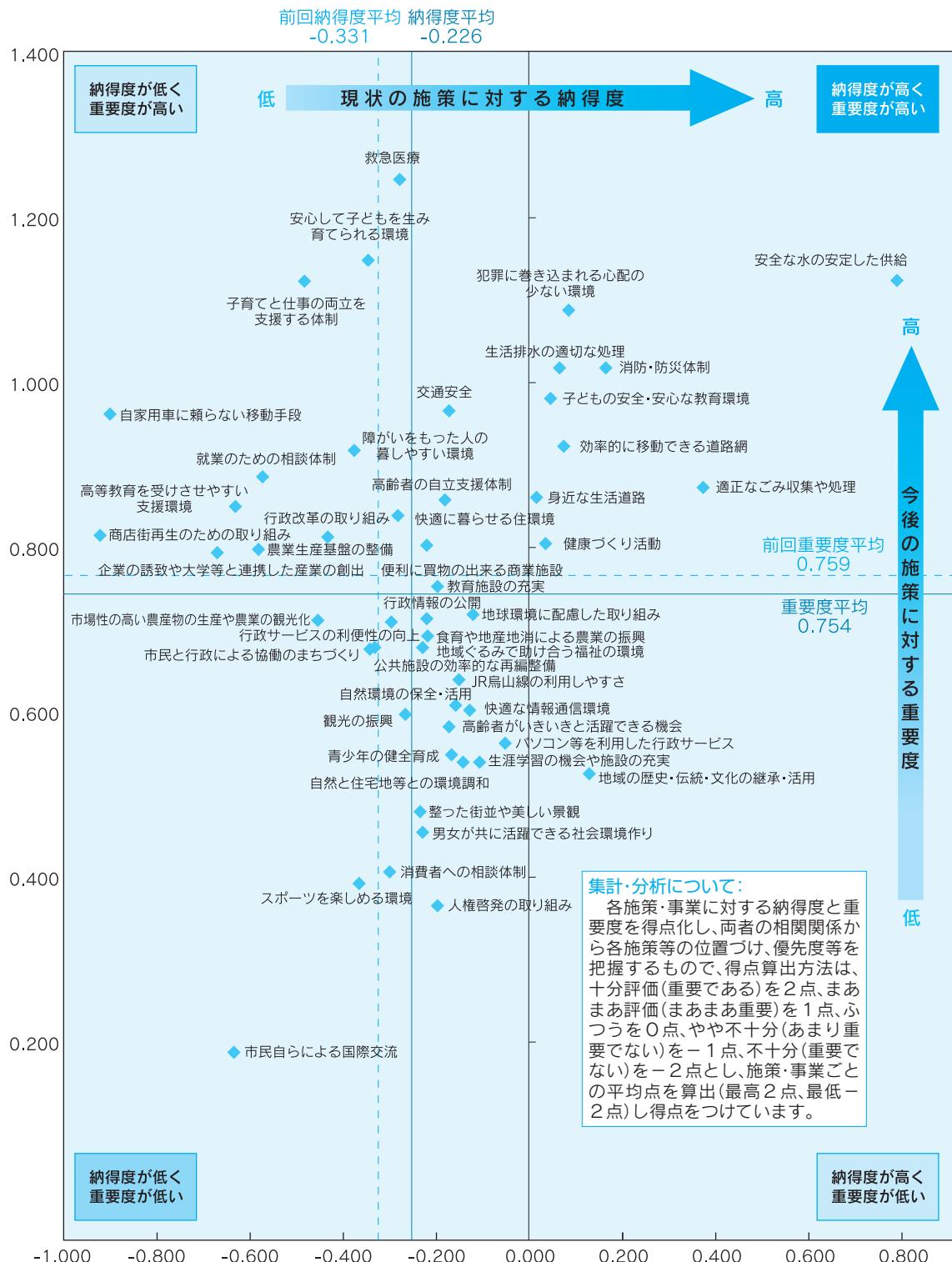
「チーム龍」「仁」の名前の由来

「龍(神)」:「龍門の滝」の大蛇伝説に登場する水の守り神である龍。

「仁」:思いやりの心。
「JIN-仁-」:テレビドラマJIN-仁-に登場する南方仁医師の人助けたい強烈な愛情と情熱を受け継ぐ。※チームページもぜひご覧ください。

集計結果速報

■現状の施策に対する納得度と今後の施策に対する重要度(図1)



各施策の満足度と重要度の相関から見てみると、納得度が高く、重要度も高い「安全な水の安定した供給」「消防・防災体制」などは、今後も継続的な取り組みが期待されています。また、納得度が低く、重要度が高い「自家用車に頼らない移動手段」「子育てと仕事の両立を支援する体制」、「安心して子どもを生み育てられる環境」などは、今後も継続的な取り組みが期待されています。

前回調査(納得度平均:-0.331)、重要度平均:-0.759)より若干ではありますが、まちづくりの評価が上がってきていることがわかります。

図1は「現状の施策に対する納得度と重要度」に関する調査結果です。この図は右上に行くほど納得度・重要度が高く、左下に行くほど低くなっています。全体的に各施策・事業の納得度は低く(平均:-0.226)、重要度は高く(平均:0.754)なっていますが、前回調査(納得度平均:-0.331)より若干ではあります。また、納得度が高くなるほど重要度が高くなる傾向があります。

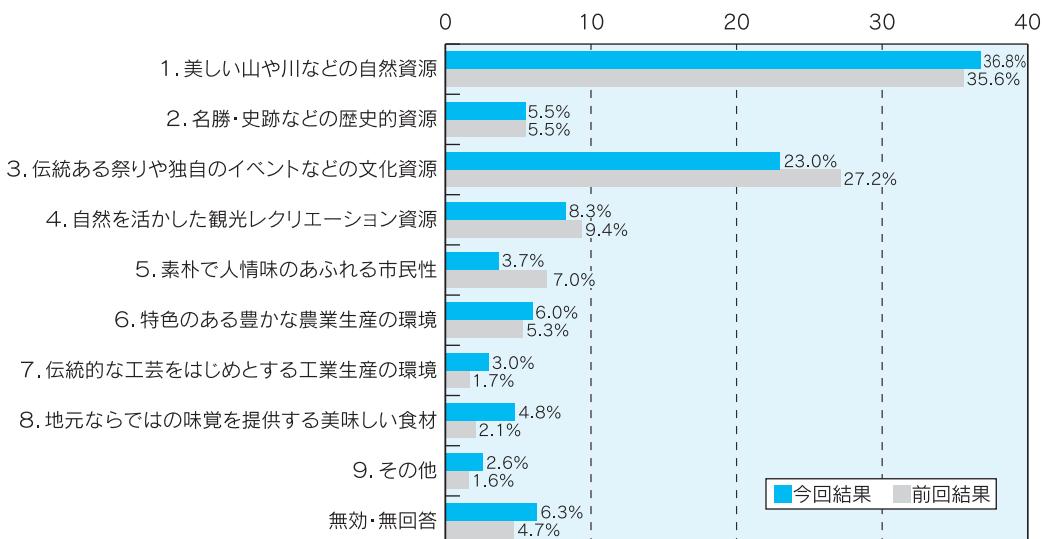
市では、平成20年度から10年間にわたるまちづくりビジョンである「総合計画」の後半5年間の「後期基本計画」策定の基礎資料とするため「まちづくりに関する市民意向調査」を8月に実施しました。

このほど調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してお知らせします。

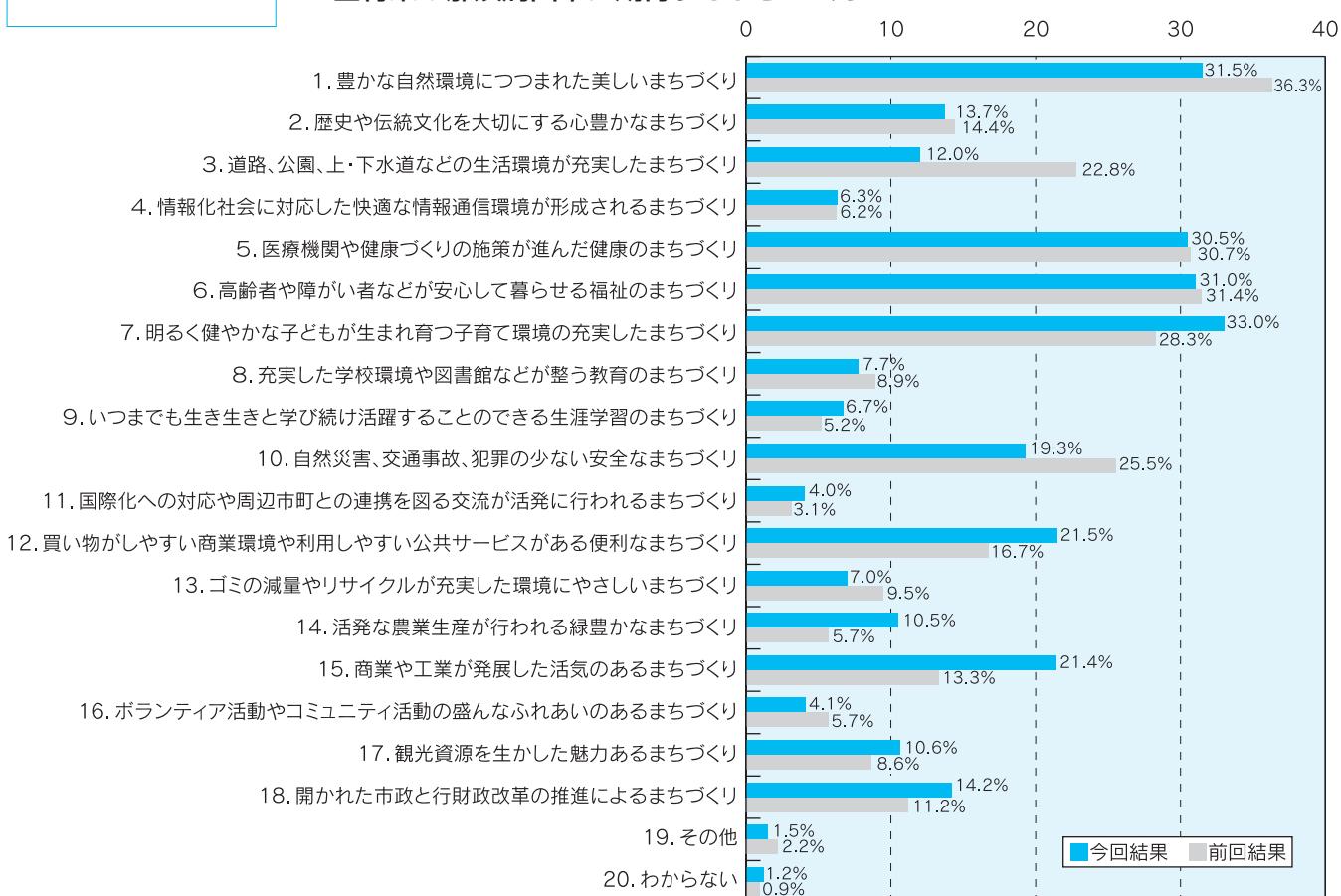
調査の概要：

調査は、H18年度の前回同様、満16歳以上の市民3,000人を無作為に抽出して無記名回答で実施。8月1日から22日にかけて郵送により回収しました。内容は、「今後のまちづくり」「まちづくりに対する評価」「防災」「環境」など計41の質問項目で、945人から回答をいただき回収率は31.5%でした。

■那須烏山市の誇りや特色(図2)



■将来の那須烏山市に期待するまちづくり(図3)



生み育てられる環境」などは、今後まちづくりにおける重要な施策として期待されています。さらに、最も重要度が高い「救急医療」や最も納得度が低い「商店街再生」ための取り組みは早急に対応を検討すべき施策となっています。

図2の「那須烏山市の誇りや特色」についての調査では、前回同様「美しい山や川などの自然資源」が最も高い回答でしたが、産業に関する個性（農業生産・工業生産地元の美味しい食材）を市の特色とする意識が強まり、伝統ある祭りや人情味あふれる市民性を特色とする意識が弱まる傾向でした。

また、図3「将来の那須烏山市に期待するまちづくり」については、前回調査結果とほぼ同様の傾向が見られますが、生活利便の向上（子育て環境、商業・公共サービス等）や産業の振興（農業生産・商業・工業）を望む声が強まる傾向です。一方、今回調査では、生活基盤施設（道路・公園・上下水道）の整備を望む声は弱まる傾向でした。

市ではこれらの調査結果をさらに分析し、今後のまちづくりに活かしていくこととします。詳細な評価結果については、市ホームページをご覧ください。

市表彰式で特別功労者などを表彰

那須烏山市の誕生から6周年を迎えた10月1日、市表彰式が烏山公民館で開催されました。

市表彰条例に基づき特別功労、市政功労、文化スポーツ功績、まちづくり貢献の各分野で、24人3団体が表彰されました。また、東日本大震災に伴い、多額の義援金や物品などを寄付した7社（団体）に感謝状が贈呈されました。

また、式典終了後には、健康講話として関口忠司那須南病院長を講師に迎え、放射線情報を正しく理解するための講演を行いました。

なお、市表彰の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

特別功労表彰

中田三郎、浅倉精一、川俣純子、中

■関口忠司那須南病院長：平成2年4月から自治医大非常勤講師として那須南病院勤務。平成4年4月から那須南病院院长。現在、栃木県北健康福祉センター運営協議会委員、栃木県救急医療運営協議会委員。



解するためには「安心した日常生活を送るために」と題した講演が行われ、放射線について、人体への影響や身を守る方法などが分かりやすく解説されました。

東日本大震災に伴う原発事故により、放射能問題がさわがれています。そのため、40人の参加者は熱心に講演を聞きました。

山茂

市政功労表彰

岩崎チヨ子、掛札正、栗田芳子、小

森茂、齋藤恵子、平山進、佐藤康宏、水上正治、永山洋子、関口喜代美、檜山勉、赤羽美枝子

文化スポーツ功績賞

小島悠穎、矢野雅貴

まちづくり貢献賞

那須烏山市配食サービスボランティア、南那須地区給食サービス、那須烏山市イスウル友の会、石川陽子、青木静江、玉造恵一、大野隆、（故）大谷巖夫、形山一雄

感謝状贈呈

林テレンプ（株）、（株）中村製作所、豊島区長高野之夫、栃木県遊技業協同組合、烏山城カントリークラブ、（株）塩那自動車販売、アクリーチ（株）



受賞者に市長から表彰状が手渡される。

県文化功労者に 伝統工芸士（和紙すき） 福田 弘平さん（中央）



押絵の仕上げ作業を行う福田さん。

このほど、県の文化振興に大きく貢献した人に贈られる栃木県文化功労者表彰を伝統工芸士の福田弘平さんが受章されました。

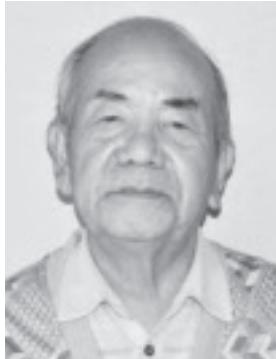
福田さんは、宇都宮大学を中退して和紙すき職人の道に入り、全国の产地で修行後、家業を継ぎました。後継者不足などにより、各地で廃業が相次ぐなか、販路拡大や新製品の開発等を行い、さらには「押絵」などの和紙芸術の世界も作り上げました。烏山和紙を代表する厚紙の至宝「程村紙」は、国の無形文化財に選択されています。また、全国手書き

和紙連合会長として、後継者育成に取り組むなど、今回の表彰はこれらの功績が認められたものです。

一方、烏山町長を歴任し、現在は市観光協会長を務めるなど、地域発展にも尽力されました。「紙は日本の文化。貴重な和紙をふんだんに使用する『山あげ』ができたのも、当地域が紙の产地だからこそ。全国の产地が消えゆくなか、『烏山和紙』を残したことを見たときに思っています。今後も、日本文化の伝承に努めたい」と話してくれました。

叙勲、大臣・知事表彰 おめでとうございます

総務大臣表彰 荒井 榮子さん(向田) 瑞宝単光章 和久 文男さん(下境)



瑞宝単光章 和久 文男さん(下境)

危険業務従事者叙勲で、和久文男さんが瑞宝単光章を受章されました。長年にわたり消防業務に従事し、豊富な知識・経験技能を發揮して、地域住民の安全安心推進に貢献された功績が認められたものです。

和久さんは、南那須地区広域行政事務組合発足の際には、消防本

部の設置に尽力するとともに、本部職員の資質向上に寄与されました。その後、総務課長と予防課長兼任という重責を担い、平成5年から11年まで烏山消防署長として、1署3分署を統括。職員の指揮監督、育成指導などにも取り組みました。

今回の受章を聞いて「職場や地域の皆さんのおかげです」と、感謝の言葉を話していました。

平成22年10月に実施された国勢調査における功績が認められ、指導員として荒井榮子さん、調査員として岩崎チヨ子さんが総務大臣

から表彰されることになりました。荒井さんは、これまで農林業セ

ンサスや国勢調査などに従事してきました。今回は指導員として、豊

富な知識を生かし、調査員に対して適切な指導と助言を行い、調査推進に大きく貢献されました。

岩崎さんは、これまで国勢調査、就業構造統計、サービス業基本調査など多くの統計調査に従事。調

査期間中に調査票をすべて回収するなど、調査に取り組む姿勢は誠実で責任感もあり、常に熱意を持つて調査にあたられました。

受賞者には11月15日に開催される県統計大会で表彰状が手渡されます。大会では、統計調査員として高野則雄さん(大桶)、高橋トミさん(谷浅見)、堀江幸子さん(金井)の3人も栃木県知事から表彰されます。

厚生労働大臣表彰 遠藤 和男さん(中央)



食品衛生功労者として、遠藤和男さんが厚生労働大臣から表彰されました。

遠藤さんは、家業のしうう油製造に従事しながら、長年にわたり食品

衛生指導員を務め、食品業界の指導者として活動してきました。

また、県食品衛生協会烏山支部指導員部会幹事として一斉巡回指導や許可前施設の調査指導等を主導的に行つきました。平成20年からは同協会烏山支部副支部長として会員をまとめ、食品衛生思想の普及に努めるなど、食品業界の指導及び組織強化、事業推進に尽力、食品衛生向上に貢献されました。遠藤さんは「関係者の皆さんのが協力してくれたおかげ」と話してくれました。

神門さんは、20年にわたり国民健康保険運営協議会委員として、神門孝行さんが厚生労働大臣から表彰されました。

ささらに、保健事業等の推進に貢献しました。神門さんは、20年にわたり国民健康保険運営協議会委員として、神門孝行さんが厚生労働大臣から表彰されました。

和久さんは、南那須地区広域行政事務組合発足の際には、消防本

部の設置に尽力するとともに、本部職員の資質向上に寄与されました。その後、総務課長と予防課長兼任という重責を担い、平成5年から11年まで烏山消防署長として、1署3分署を統括。職員の指揮監督、育成指導などにも取り組みました。

今回の受章を聞いて「職場や地域の皆さんのおかげです」と、感謝の言葉を話していました。

平成22年10月に実施された国勢調査における功績が認められ、指導員として荒井榮子さん、調査員として岩崎チヨ子さんが総務大臣

から表彰されることになりました。荒井さんは、これまで農林業セ

ンサスや国勢調査などに従事してきました。今回は指導員として、豊

富な知識を生かし、調査員に対しても適切な指導と助言を行い、調査推進に大きく貢献されました。

岩崎さんは、これまで国勢調査、就業構造統計、サービス業基本調査など多くの統計調査に従事。調査期間中に調査票をすべて回収するなど、調査に取り組む姿勢は誠実で責任感もあり、常に熱意を持つて調査にあたられました。



岩崎さん。



荒井さん。

事業仕分け結果(9人の仕分け人の投票結果)

No.	事業名	廃止	市以外が実施		市が実施		
			国県	民間	現行どおり	要改善	民間(市の責任)
1	まちづくり団体支援事業			1	1	7	
2	市民号実施事業	1		1	1	3	3
3	イスカル運動推進事業					7	2
4	ふれあいの道づくり事業				3	3	3
5	英語コミュニケーション推進事業				2	7	
6	市民大学開催事業	2			1	6	
7	国際交流事業（中国青海省交流）	3			1	2	3

【廃止】

- ・不要である（自治体、民間のいずれも実施する必要がない）

【市以外が実施】

- ・国、県が実施すべき
- ・民間に移管し民間の責任で実施すべき

【市が実施】

- ・市が現行どおり直接実施すべき
- ・市が直接実施するが改善すべき点がある
- ・民間に委託等を行い間接的に実施すべき（市の責任のもと）



仕分け人の投票結果をまとめる。

10月13日、市役所烏山庁舎において那須烏山市総合政策審議会（宇都宮大学国際学部教授中村祐司会長委員による）事業仕分けが実施されました。昨年に引き続き2回目の開催となる今年の対象事業は、市で特に検証が必要と判断した①まちづくり団体支援事業②市民号実施事業③イスカル運動推進事業④ふれあいの道づくり事業⑤英語コミュニケーション推進事業⑥市民大学開催事業⑦国際交流事業（中国青海省交

流）の7事業。1事業30分程度で、担当者からの説明、質疑応答、仕分け人の評価結果のとりまとめを行いました。

仕分けの結果は上表のとおりで、今回の7事業は要改善とする意見が多く占めました。

市では、この事業仕分けの結果を今後の事業運営に反映させていきます。

■総合政策課 0287-83-1112



様々な要望や質問が発表される。

地域県政懇談会で意見交換

栃木県県民プラザ室主催による地域県政懇談会が、9月21日に市役所烏山庁舎で開催されました。

各分野を代表する市民12人が出席し、県政に関する要望や質問などに対し、県職員が答えました。環境や農業、高齢化問題など活発な意見交換が行われました。



担当職員への質問を重ね評価。

荒川南部土地改良区で記念碑の除幕式



関係者による記念碑の除幕。

荒川南部土地改良区(玉造恵 理事長)で県営
ほ場整備事業の換地処分が終了し、10月17
日に記念碑除幕式と竣工式が行われました。

この事業は、平成13年度に担い手育成型
として採択され、ほ場整備と併せて農地集
積及び環境整備も実施。換地区は大里、小
塙、森田、高瀬の4地区としました。
除幕式では、司会者の合図で「甦る荒川
の郷」と刻まれた記念碑が姿を見せました。
終了後には、記念撮影と竣工式も行われ、
玉造理事長は「長年の悲願であった。組合
員の熱意と團結力により、大きな実を結ぶ
ことができた」とあいさつしました。



上／駅舎で解説する福島准教授。

下／チグリハーブのどうくつコンサート。(宮崎雄司さん提供)

市内の近代化遺産 5か所を公開

「近代化遺産全国一斉公開2011」の一環で、まちづくり研究会が10月22日と23日、市内の近代化遺産を公開しました。近代化遺産とは、幕末から明治・大正・昭和戦前期にかけ建造された、日本の近代化に貢献してきた構造物や建築物です。どうくつ酒蔵、J R 烏山駅舎、烏山和紙会館、境橋、筑紫山山頂の烏山防空監視哨の5か所を開きました。

23日には、モニターツアーで近代化遺産めぐりが行われました。また、どうくつ酒蔵では、足工大福島二朗准教授の講演会や、N P O 法人コミュニケーション・ラボ樋口節子代表による朗読会、チグリハーブのコンサートも行われました。和紙灯り作家の鎌田泰二さんによる照明で、どうくつ内は温かな雰囲気に包まれました。

七合小で 乳しづりバター作りなど酪農体験

市及び酪農組合青年部(小森崇弘代
表)が、七合小学校で10月11日に酪農
体験事業を行い、同校児童が牛の乳
しづりとバター作りを楽しみました。
子どもたちは大きな牛にびっくりして
いましたが、しだいに慣れ
てきたのか「あつたかい。楽しい」
など、歓声をあげながら乳しづり
を体験。その後、自分たちで作った
バターを笑顔でほおばりました。
小森代表は「牛は命がけでミルクを作っている。大切に飲んでは
しい。生産の体験を通して、食べ物
への感謝の気持ちを育んでもらえ
れば」と話してくれました。



11月は「児童虐待防止推進月間」です

～子どもの虐待のないまちづくりを目指して～

厚生労働省では、急増する児童虐待問題に対する社会的関心を高めるとともに、児童虐待防止対策の推進を図るため、11月1日から30日までの1か月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、公報・啓発等の取組みを全国的に実施しています。

本市においても、市民一人ひとりが児童虐待問題についての理解を深め、主体的な関わりを持っていただくため、関係機関と連携して啓発普及を図ります。

虐待の種類…

身体的虐待

- ・殴る、蹴る、首を絞める、熱湯をかける

- ・タバコの火を押しつける、風呂場で溺れさせる

- ・冬に戸外に閉め出すなど

- ・子どもへの性的いたずらをしたりするなど

- ・子どもへの性的いたずらをしたりするなど

- ・食事を与えない、入浴させない

- ・病気でも病院に連れて行かない

- ・子どもの意思に反し学校に行かせない

- ・乳幼児だけおいて外出するなど

- ・言葉による脅かし、無視、拒否的態度をとる

- ・自尊心を傷つける言動をとる

- ・他の兄弟や姉妹と著しく差別する

児童虐待とは…

11月1日(火)から30日(水)までの1か月

子どもを守るべき立場にある親や親に代わる保護者によって、子どもの心や体に加えられる、子どもにとって有害な行為のことをいいます。たとえ「しつけ」のつもりで行った行為でも、子どもの心に深い傷

を残すだけでなく、尊い生命を奪ってしまうこともあります。虐待であるか否かは、子どもの立場にたって判断されなければなりません。

子どもの虐待に気づいたら！

虐待は、一部の特定の親に起きる問題ではなく、誰にでも起きる可能性のある問題です。

あなたの身の周りに、「もしかしたら、虐待を受けているのは？」

「良くわからないけれど、ちょっと心配な親子…」などと思われることがありますか？

また、子育て中で、「自分は、子育てが大変…。このままだと、虐待してしまいそう…」「自分のしていることは、虐待なのでは？」など、悩んでいる方、一緒に考えて行きませんか。

虐待について相談を行っていますので、気になつていることがありますか？詳しくは、こども課こそだて支援係 ☎ 0287-88-7116 Fax 0287-88-6069 〒321-0526 那須烏山市田野倉85-1

虐待についての相談は…

那須烏山市 こども課 ☎ 0287-88-7116 Fax 0287-88-6069

〒321-0526 那須烏山市田野倉85-1

栃木県 県北児童相談所 ☎ 0287-36-1058 Fax 0287-37-5799

〒329-2723 那須塩原市南町7-20

休日や夜間に虐待を発見した時は

「児童虐待緊急ダイヤル」 ☎ 028-665-3677

※市が相談を受けて緊急を要すると判断した場合は、児童相談所に連絡が行きます。



子どもと親が安心して生活できる地域をみんなでつくりましょう！

■市の工事請負等契約

(前月20日までの入札結果、単位は千円、250万円以上)

事業名	箇所	業者名	金額	工期
那須烏山市立七合保育園災害復旧工事	大桶	(有)川又建設	3,937	10/26～12/28
那須烏山市立にこにこ保育園災害復旧工事	岩子	(有)柳田建設	3,528	10/26～12/28
大赤根逆川線道路災害復旧工事（23年災／143号）	曲畠	(株)岡工務店	39,900	10/26～3/9
興野大沢線道路災害復旧工事（市単災）その39	興野	矢澤建設(株)	12,547	10/26～3/9
鴻野山小倉線道整備交付工事その3	鴻野山	小花塗装(株)	2,583	10/26～1/10
野上下境線設計業務委託（道路整備費）その31	野上	玉川測量設計(株)	2,593	10/31～1/10
野上下境線 外 橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託	野上・下境 (下野大橋 外)	国際航業(株)	4,158	10/20～2/29

※入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係 ☎ 0287-83-1111 まで。

1に予防、2に健診、しつかり治療で糖尿病予防♪

11月14日は「世界糖尿病デー」、

それに伴い11月1日から30日の1か月間、栃木県糖尿病予防・重症化防止キャンペーンが実施され、県的な普及啓発活動が展開されています。

11月12日(土)から18日(金)には、

栃木県庁本館1階において展示会が開かれます。

◇ ◇ ◇

近年、食生活の乱れや運動不足などにより糖尿病やその予備群に

なる人が増えています。糖尿病は自覚症状が少ないため、放置する人も多く、結果として網膜症による失明、腎症から人工透析、脳卒中や心筋梗塞などの合併症を引き起こすことになります。

平成19年国民健康・栄養調査によると全国では、

・糖尿病が強く疑われる人→約890万人(1年間に約70万人増)

・糖尿病の可能性が否定できない人→約1320万人(1年間に約270万人増)

という結果が出て、なんと約22万人が糖尿病の可能性があるといわれます。

栃木県の調査でも、医師から糖尿病と言われたことがある人の割合は、増加傾向です。

市においても、国民健康保険団体連合会が示す医療費状況によれば、受診件数・医療費とともに糖尿病は第3位となつており、県平均値より高い状態になっています。

万人増)

・定期健診を受けましょう
・食事は3食、バランスよく、腹八分目

■ 0287-88-7115

○糖尿病予防のために

・定期的に運動しましょう
・日常生活で身体を積極的に動かしましょう

・食事は3食、バランスよく、腹八分目

・定期的に運動しましょう
・日常生活で身体を積極的に動かしましょう

・間食、お酒は適量に
・この機会に糖尿病に关心を持ち、日常生活を見直してみましょう。

■ 健康福祉課健康増進係

食育チチ情報

今日は…『大根』



大根は、日本の冬の食卓には欠かせない食材です。通常大根は1年中栽培されていますが、旬を迎える12月は特に甘みを増してみずみずしく、生でも大変美味しく食べられます。

実は葉っぱがスゴイ

大根は、葉の部分の方がビタミン・カロチン・カルシウムなどの栄養分が豊富です。炒め物や味噌汁で食べるとおいしく栄養がとれるのでおススメ！ちなみにもなく旬の時期です。おいしい旬の野菜を食卓へ♪

【大根のここがスゴイ】 根の部分のヒミツ

根の部分にはアミラーゼというenzym分解酵素が多く含まれおり、消化を促し、胸やけ、胃もたれなどに効果があります。

■ 健康福祉課

0287-88-7115



天蓋(滝)

(昭和45年
栃木県指定
有形文化財)

この作品は、縦横71cm、高さ37cm、四隅に飾りとして小旗が付いています。全面に施された「宝珠つなぎ唐草」文様は、毛彫、蹴彫を併用して精巧に彫られ、当時としては数少ない真鍮で製作され、その技法も大変優れています。天和元年(1681)、時の烏山城主那須資弥が太平寺に寄進したと陰刻されています。那須資弥は、この年に福原領(現:大田原市)から烏山領に転封となりました。那須氏は、天正18年(1590)に烏山領を改易されていることから、約100年を経て旧領に復帰したことになります。その記念として所縁の深い本寺に寄進されたものと思われ、その喜びがこの作品に表れているようです。

■生涯学習課 0287-88-6223

【大根のここがスゴイ】 根の部分のヒミツ

根の部分にはアミラーゼとい

うでんぶん分解酵素が多く含まれおり、消化を促し、胸やけ、ビタミンCも多く特に内側より

実は葉っぱがスゴイ

大根は、葉の部分の方がビタミン・カロチン・カルシウムなどの栄養分が豊富です。炒め物や味噌汁で食べるとおいしく栄養がとれるのでおススメ！ちなみにもなく旬の時期です。おいしい旬の野菜を食卓へ♪

11 広報那須烏山 2011.11

スポーツの秋到来

南那須地区と烏山地区で市民運動会開催

